

広報・教育 部門

応募事例名

「弱虫ペダルマンホール」が長崎市に誕生！ —下水道供用開始60周年と観光資源の創出—

応募団体名)長崎市上下水道局

応募事例の概要



HPのQRコード

○「弱虫ペダル」とのコラボレーション

下水道供用開始60周年を記念したデザインマンホールの制作、長崎市まちづくりアイデアコンテストの児童提案「長崎の坂道ロードレース」の実現、市内全域への周遊促進を図る観光資源の創出の3点を達成するため、「弱虫ペダルマンホール」が誕生。



©渡辺航(秋田書店)2008

○市内全域への設置

市内の観光施設や景観スポット27か所に「弱虫ペダルマンホール」を設置。

海と山が織りなす長崎市の景色を堪能しながら、市内全域を周遊できるよう設定。



稲佐山公園展望台



弱虫ペダルマンホール設置図

○事業効果

関連イベントとして、渡辺先生の出身中学校での講演会、地域の自転車イベント「第9回ツール・ド・ちゃんぽんin長崎伊予島」と連携した記念ライド、渡辺先生のトークショーやサイン会を実施。



下水道公報プラットフォームの「マンホールカード」に登録し、令和4年1月に配布開始し、わずか6日間で約680枚を配布。現在も、毎月約200人が県外から来訪し、令和5年5月末現在で累計5,832枚を配布。(配布枚数は、原則1人につき1枚まで)



PRポイント

長崎市の風景に「弱虫ペダル」のキャラクターを登場させた新規描き下ろしデザインを制作。

世界新三大夜景を眺める「稲佐山公園展望台」、国内有数の化石産地である長崎をテーマにした「長崎市恐竜博物館」、美しい夕陽と角力灘の島々を眺める「道の駅夕陽が丘そとめ」など、長崎の魅力あふれるデザインです。



上下水道局業務部総務課 主事 松尾文人

取り組みに関するエピソード

- ・原作者の渡辺航先生には、週間連載で多忙の中、新規描き下ろしデザインの制作、登場するキャラクターや設置場所の選定、イベントへのご参加など、大変ご尽力いただきました。
- ・設置場所が、離島を含む市内全域の27か所に渡ることから、現地確認や受枠の腐食状態のチェックなどに時間がかかりました。デザインの作成、各設置場所の管理者との調整、地域の自転車イベントと連携した記念ライドの実施、中学校での講演会など、関係者が多く調整が大変でしたが、部局を超えて役割分担し、チームみんなで協力して進めることができました。
- ・市民生活を影から支える下水道が、長崎市を盛り上げる一助となり、非常に嬉しく思います。